



牧村範康 議員

DV(ドメスティックバイオレンス)の防止と対策について

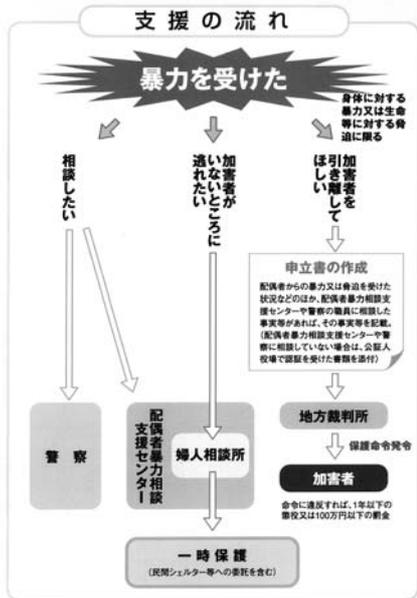
～STOP! ザ・暴力 安心安全の町づくり!～

町長
 当町におけるDV被害の実態認識は？また改正DV防止法において、地方自治体の責務をどう考えるか？

町長
 実態は掴みにくいが潜在的にDV被害は存在している。相談件数は19年度から21年度までで7件ある。県と連携してDV防止対策をしなければいけない。

町長
 当町のDV防止対策の内容とその費用は？

町長
 子育て支援室を相談窓口にして、県の女性センターなどと連携しながら、一時保護や支援活動の対策は整えてある。県のパンフレットやポスター



パンフレットの詳細は
<http://www.gender.go.jp/>

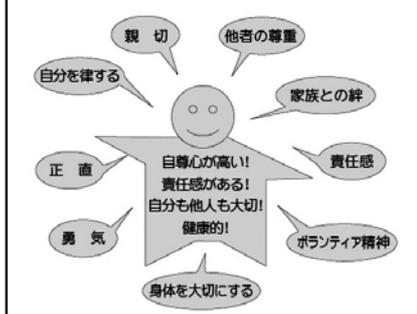
を使っている。民生委員さんなどの協働で進め、費用は最小限にしている。

町長
 配偶者からの暴力に限らず、家庭内暴力や児童虐待、高齢者虐待、兄弟間暴力などの問題も大きく社会問題化している。町の対策は？

町長
 児童虐待の相談件数は、毎年数件であるが、早期発見、早期対策に努めたい。また、その数は氷山の一角と認識しているが、家庭的な問題には慎重に対応せざるを得ない。

【要望】
 池田町独自のDV防止基本計画の早期策定とその啓蒙活動を期待する。

ライオンズクエストとは、ライオンズクラブの教育プログラム。9つの価値観で構成される。



青少年の健全育成について

ライオンズクエストの実践を

町長
 小中学校の総合学習や道徳学習として進めている「心の教育」・「真の人間としての生きる力」が未だ不足しがちであると思うが。

町長
 携帯電話のルールを中学生主体で作ったり、他人を思いやる気持ちやボランティア活動などを行っているが、今後さらに心の成長教育に力を入れる。

生きる力の教育に効果があるライオンズクエストへの取り組みを池田町でも推進すべきと考える。平成19年度には、町内の教育関係者が研修やセミナー等に参加されたが、その後、実際に教育現場ではどのような運用がなされたか。

町長
 素晴らしいプログラムであり、出来る限り実践しているが、時間を如何にさくかが問題である。今後も先生方には研修を積んでもらい、様々な分野で活かして頂きたい。

教育長
 英語学習への取り組みもあり、時間数の制限はあるが、是非検討していきたい。

【要望】
 池田町の宝である子どもたちの「心のケア」と「生きる力」を重視する教育方針で、青少年福祉行政の実践をして頂きたい。